

## 第2回 小平市公共施設マネジメント推進委員会（会議要旨）

日時 令和5年12月27日（水） 午後2時00分～午後3時30分  
場所 WEB会議（ZOOM）  
出席者 推進委員 7人（木村俊介委員長、齋藤啓子副委員長、天米一志委員、岡部明子委員、木村徳次委員、鈴木由佳委員、水島謙司委員）  
出席課 6人（相澤財務担当部長、濱本公共施設マネジメント課長、同桃井課長補佐、同小林担当係長、同比留間主任、後藤施設更新担当課長）  
欠席者 なし  
傍聴者 1人  
配布資料 資料1-1 旧鈴木保育園、小川保育園、萩山公園プール管理棟、一小、五小体育館、五中、六中に関する更新等について（案）  
資料1-2 主な通学区域における人口推計  
資料2 小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計方針 素案  
資料3 （仮称）小平第十三小学校等複合施設の整備に関する基本計画 素案

### 1 開会

### 2 旧鈴木保育園、小川保育園、萩山公園プール管理棟、小平第一小学校校舎及び体育館、小平第五小学校体育館、小平第五中学校校舎及び体育館、小平第六中学校校舎及び体育館に関する更新等について(案)

小平市公共施設マネジメント推進計画、資料1-1及び資料1-2の概要を説明した。

**委員長:**旧鈴木保育園は当面暫定的に被災者用備蓄品の保管場所として活用し、然るべきときに民間への貸付・売却を検討することのことだが、現段階で貸付先や売却先の具体的な想定はあるか。

**公共施設マネジメント課:**旧鈴木保育園は本来の使用用途である公立保育園としての機能廃止に伴い、施設について庁内で跡利用を検討し、当時、被災者用備蓄品の保管場所が不足していたため、施設の目標耐用年数までの暫定的な使用として、当面の間被災者用備蓄品の保管場所とする判断をした。

施設解体後の活用については、民間のニーズの調査と、市における活用について庁内調査も実施しているが、歳入確保のための民間への売却が有力であると認識している。

**委員:**旧鈴木保育園には、一部民具も保管されており、また中央エリアの整備の際も民具庫のプレハブを解体するため、民具の保管場所の確保が必要と考えるが、常設展示もできるような施設を検討できないか。

**公共施設マネジメント課:**現行の民具庫では、ご覧になりたいという要望があった場合に対応しているが、意見を主管課に伝える。

**委員長:**一小及び五小に対する予防保全の費用は、どの程度を見込んでいるか。

**公共施設マネジメント課:**一般的には鉄筋の腐食を防ぐために防水や外壁などの改修を見込んでいるが、各建物の状況を見ながらとなるため、費用見込みは持ち合わせていない。

**委員長:**予防保全も相当の費用が見込まれるため、更新する場合との比較をしているのではないか。

**公共施設マネジメント課:**更新等の適否の判断の要素として、予防保全をする場合との経費の比較は行っていない。ただし、一般論として建替よりも改修の方が費用負担は少ないという認識があり、建物の状態が良好であれば、建替ではなく長寿命化をすると判断している。

**委員:**小学校の統合に伴う通学区域の変更について、最大でどの程度の時間をかけての登校を想定しているか。

**公共施設マネジメント課:**統合に伴う通学区域の変更もシミュレーションし、30分以内で登校可能とする想定である。

**委員長:**30分以内とは、児童の足での想定か。

**公共施設マネジメント課:**公共施設マネジメント推進計画の10頁に「小学校は、小学校1年生が歩いて通うことができる距離に配置されている」としており、小学校低学年を意識したものである。

**委員:**更新と改修の費用負担には大きな差があるのか。

**公共施設マネジメント課:**更新は建替と同義であり、改修は部分的な補修や予防保全を指す。例えば十一小の更新について、現段階での工事費用試算は約54億～60億円としている。一般的に、改修費用に比較して大きな費用がかかると認識している。

**委員長:**六中について、更新はするが複合化はしないということか。

**公共施設マネジメント課:**中学校については複合化せず、単独更新という方針である。

### 3 学校更新事業

#### (1) 小平第十一小学校等複合施設の整備に関する基本設計方針 素案

#### (2) (仮称)小平第十三小学校等複合施設の整備に関する基本計画 素案

資料2及び資料3の概要を説明した。

**委員:**事業コストについて、平米単価60万円という設定は現実と乖離していると感じる。公表するのであれば、市場動向を鑑み整備段階で検討するといった表現を付け加えたほうがよいのではないか。

**施設更新担当:**令和3年度に策定した十一小の整備基本計画で事業費を示しており、今回の基本設計方針素案・十三小の整備基本計画素案の中でも、それと整合した形としている。平米単価60万円については、新たに複合施設を整備する部分を切り取った単価であり、既存施設の解体や工事監理、設計等にかかる経費は含めていない。また、根拠として、東京都の示す標準建物予算単価、直近の学校施設や複合施設を整備した他自治体の実績の費用を勘案して算出している。表現は検討するが、金額については最新のものと認識している。

**委員:**配置計画の選定に当たって、十一小、十三小共に仮設校舎を建設するか否かが決め手になっているように見える。

**施設更新担当:**配置計画の評価項目の一つに経済性という点がある。物価上昇もあり仮設校舎を整備すると約20億円が必要となるため、相当な重みはあるが、その前提として、教育活動に必要な機能や環境、周辺住宅に与える影響なども評価したうえで、仮設校舎が不要となれば、経済性を鑑みそれを採用していくこととしている。

**委員:**配置計画案を比較する際に、例えば地域交流活動の点からはどうかなど、詳細に見れば、それぞれに他案より優れている点があるのではないか。

**施設更新担当:**地域交流活動に対する適応性は、配置計画というよりは、施設の内部計画に左右される印象がある。北側案と南側案の施設内部計画では、おおよそ同等という評価をしている。配置計画により大きく異なるのは校庭の日陰に対する影響であり、その他の学習活動については他案と差が生じないと認識している。

**委員:**施設単体だけでなく周囲の状況も考えたうえで、ネガティブチェックではなくて、地域の人にとってよりよい配置という視点があり得るのではないか。

**施設更新担当:**今回の配置計画は、周辺環境との関係では、安全性、日陰の影響、音の影響を中心に評価したものとなっている。施設の配置と地域交流活動の視点については、安全性を重要視して評価した。

**委員:**市民参加について、十一小の更新事業で経験している最中だと思うが、素案の中に、地域住民や保護者、学校関係者と共に考えていく手順の記載が見られない。記載してはどうか。

**公共施設マネジメント課:**検討の初期からワークショップや市民説明会、ヒアリング、オープンハウス等を段階的に行うなどの市民参加の手順については、整備基本計画の上位計画である公共施設マネジメント推進計画に示している。また、令和3年度に策定した十一小の整備基本計画の末尾には、それまでの市民参加の取組実績をまとめており、十三小の整備基本計画でも同様に掲載していく想定である。

**委員長**：十一小の地域交流室について、児童と市民が交流する頻度はどの程度を想定しているか。

**施設更新担当**：詳細な交流方法や頻度は現時点では決まっておらず、今後運用を検討していくが、一定の面積を有した諸室であるため、有効活用されるようにしていく。

#### 4 その他

次回は1月25日（木）14：00～WEB会議で開催予定。

#### 5 閉会